

特集: IRSF/SIRIUS (その2)

	IRSF/SIRIUS によるマゼラン雲近赤外線サーベイ	加藤大輔	219
	へびつかい座, カメレオン座, およびコールサック分子雲の 近赤外減光則	直井隆浩	223
	グロービュールの密度構造の進化を探る	神鳥 亮	228
	球状星団における赤色巨星進化の謎	松永典之	234
	銀河系中心サーベイ—近赤外減光則とバルジの構造	西山正吾	240
	近赤外線による銀河面に隠された銀河探査	永山貴宏	246
EUREKA	回転駆動型パルサーの電磁気学	浅野勝晃	250
天球儀	タルスヒル天文台とハギンス夫妻	小暮智一	257
シリーズ	《ミニラボ。～研究室紹介新ぼーじょん (15)～》 法政大学人間環境学部	松本倫明	263
雑報	SKA サイエンスワークショップ報告	井口 聖	265
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書 “ <i>The Environments of Galaxies: from Kiloparsecs to Megaparsecs</i> ”	松田有一	267
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書 “ <i>Meteoroids 2004</i> ”	春日敏測	268
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書 <i>Diffuse Matter in the Galaxy: Observations Confront Theory</i>	岡田陽子	269
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書 <i>COSMO-04—International Workshop on Particle Physics and the Early Universe—</i>	山崎 大	270
寄贈図書リスト			271
月報だより			271

【表紙説明】

IRSF/SIRIUS によって撮影されたふたつの暗黒星雲 (近赤外線 *JHKs* バンド 3 色合成図)。

(左) へびつかい座暗黒星雲の一部 (視野～15 分角平方)。暗黒星雲によって背景星の近赤外線が吸収および散乱され減光を受けている。減光量は波長に依存する。それが背景星の赤化として観測される。

(特集記事「へびつかい座, カメレオン座, およびコールサック分子雲の近赤外減光則」(直井) 参照)  
(右) ボックグロービュール CB110 (視野～4 分角平方) グロービュールの背景にある星は減光を受け赤い星として見えている。背景星の減光量や色超過は暗黒星雲の塵の柱密度に比例する。背景星の密度の高い場所では背景星の色超過を調べ、その空間分布から暗黒星雲の密度構造を調べることができる。

(特集記事「グロービュールの密度構造の進化を探る」(神鳥) 参照)